



特集2 平成20年3月定例市議会

朝長市長が施政方針を説明

常いひと(市民)が中心の

まちづくりを進めます

2月29日から3月定例市議会が開かれ、朝長市長は平成20年度の施政方針や当初予算案、機構改革案などを説明しました。ここでは、その概要についてお知らせします。

市民とともに歩み 変革し続ける行政を

私は、昨年4月の市長選挙において市民の皆さまから暖かいご信任を賜り、「明るく、豊かで、住みやすく、市民誰もが誇りを持つことのできるまちづくり」を基本理念として、「市民第一主義」を基調に市政の運営に当たり、前畑弾薬庫の移転・返還をはじめ、石木ダム建設促進、中学校給食の完全実施、企業誘致の促進など多くの課題に取り組みしてきました。本年は市長として2年目を迎えますが、私に寄せられた期待に応えることができるよう、市政発展のため全力を尽くしてまいります。

地方自治体は住民に身近な自治体として、次の時代を見据え、今何が求められているかを把握し、経営能力を高めていくことが必要です。本市では昨年、第六次佐世保市総合計画を策定しましたが、その基本理

念である「すべての市民が健康で、幸せを実感しながら暮らせる社会を構築し、持続していくこと」を目指し、「常いひと(市民)が中心のまちづくり」を進めていきたいと思っております。

行政には、市民協働の考えに立ち、市民や時代のニーズに柔軟に対応するため、経営の視点を持って自らの創意と主体的な変革を通じ、未来を創造していくことが求められています。私は、25万市民の力を結集し、市民とともに佐世保市の未来を切り開いていきたいと思っております。

これらのことを踏まえ、平成20年度の佐世保市経営方針として「市民第一主義のもと、市民とともに歩み、変革し続ける行政」を掲げ、財政基盤の健全化を図りながら、事務事業の見直しや民間活力の導入、機能的で効率的な組織体制の構築など、無駄を省き、成果を重視した行財政運営を進めてまいります。

市営工業団地整備と 国際航路開設を全力で

平成20年度の重点施策は、まず全国的に見ても脆弱脆弱と言わざるを得ない経済環境の改善を図るため、企業誘致と地元経済の活性化、雇用拡大を重点の課題としてまいります。

昨年8月に開所した佐世保情報産業プラザには、(株)KDDIエポルバなど新しい企業が事業を開始していますが、今後は200人以上の雇用が期待できる「新生電子(株)」（本社神戸市）の立地に向け手続きを進めてまいります。

本市には企業誘致の受け皿が不足しており、現在、平成22年度の完成を目指し、「市営工業団地」の整備のための調査を進めています。今後とも情報関連産業や自動車関連産業などの誘致に努め、地元企業の支援に全力を尽くしてまいります。



佐世保情報産業プラザ（崎岡町）

の活性化に大きく寄与することから、県と連携し積極的に誘致に取り組んでいます。現在、「金関フェリー(株)」（本社韓国釜山）が航路開設に意欲を示されていますが、引き続き航路開設に努力してまいります。

石木ダムの早期着工を

本市の水問題を抜本的に解決するためには、石木ダムの建設が最も有効であると確信しています。2月16日には、石木ダム建設促進佐世保市民の会との共催により、多くの皆さまに参加していただき、市民大集会を開催しました。石木ダムの進捗状況は、用地取得約80%、事業費ペース約45%ですが、今後ともこ

同意いただいていない方々と対話を重ねながらご理解を求め、県、川棚町と一体となって、早期着工に向けて全力を尽くしてまいります。

市町村合併は 中核市を念頭に検討

昨年、県の合併推進構想が策定され、江迎町、鹿町町から本市へ合併協議の申し入れがなされました。これを受け本市では、佐世保地域広域市町村圏組合を構成している未合併の5町を訪問し、話し合いの場を設けることを呼び掛けています。今後はこの5町の意向を伺いながら、県北地域の中心都市として、中核市を目指すことを念頭に置きつつ、検討を進めてまいります。

前畑弾薬庫の移転・返還 に最大限の努力を

「前畑弾薬庫の移転・返還」については、移転に関するご理解が得られるよう、国とともに誠心誠意お願いをし、1漁協、2連合町内会、4自治会から「移転に関し協力する」という主旨の回答をいただきました。残る2つの漁協と1自治会は、漁協と国の間で制限水域設定に係る漁業補償金支払いの問題が解決しつつあると伺っていますので、移転・返還の協議をする場面もそう遠くないものと考えています。一日でも早く、関係者の皆さまのご理解が得られるよう、引き続き最大限の努力をしてまいります。



石木ダム建設促進市民大集会（島瀬公園）



亀山江迎町長から編入合併の申入書を受け取る朝長市長（昨年11月7日）

その他の主な施策

高齢者の生活を支える環境づくり

敬老・福祉特別乗車証は、ことし6月から市営バス、西肥バスの両方を利用できる制度とします。

学校教育の充実

中学校給食の完全実施を目指しつつ、小・中学校における今後の給食のあり方について引き続き検討します。

観光を生かしたまちづくり

国内外への観光PR等を推進し、東アジア地域における国や県の観光戦略等も視野に入れ、訪日外国人客の誘致に取り組みます。既存の観光拠点について必要な整備を行い、特に亜熱帯動植物園については、平成23年の開園50周年に向け、魅力ある動植物園づくりを目指し、充実を図ります。そのほか、ハウステンボスなどとの連携を強化し、本市特有の自然や歴史・文化等を題材としたエコツアーの推進など「佐世保スタイル観光の創出」に努めます。

循環型のまちづくり

ごみの減量・リサイクルについては、市民の皆さまの負担が小さく、減量努力が報われ、減量効果が持続する2段階有料化制度の基本的な考え方を堅持しながら、平成21年1月にシール貼付方式からごみ袋引換券方式に変更することとしています。

快適で魅力ある街の再生

中心市街地については、栄・常盤地区市街地再開発事業へ適正な支援等を行うとともに、塩浜地区市街地再開発事業を推進します。高砂街区をはじめ市役所周辺地区のまちづくりについては、行政機能の集積と充実、市民の憩いの場の創出を図るため、中央保健福祉センター（仮称）や周辺街路等の公共施設の整備を進めます。

活力と賑わいのあるみなとづくり

ポータルネッサンス21計画における土地利用については、同計画開発事業提案選考委員会の審査報告を受けましたので、今後、事業予定者の決定を行い、潤いと賑わいのある海辺づくりの実現を図ってまいります。

施政方針の全文は市ホームページで見ることができます。 ☎総務課 ☎24-1111